

健康で 働く喜び いつまでも
シルバー
ひがしくるめ

【掲載記事】①～④はページ

- ① 定時社員総会
- ② 表彰・局長新任挨拶
- ③ 春の散策会・安全箱
- ④ 広報活動・コラム・入会説明会
開催日程

第14回定時社員総会



名和会長挨拶



富田市長祝辞



沢田議長祝辞



渋谷都議祝辞



原都議祝辞



来賓の皆様

令和6年6月27日(木)、第14回定時社員総会が、東久留米市立生涯学習センター(まろにえホール)にて開催されました。

当日は曇り空で前日より少し涼しく、出席の皆さんの出足も好調でした。

参加された皆さんの熱心な取り組みのもと、すべての議事が滞りなく進行されました。

登録会員数1100名のうち、出席者数は811名でした(委任状提出者610名、議決権行使書提出者121名、当日出席者80名)。

来賓に、「東久留米市長 富田竜馬様」「市議会議員 沢田孝康様」「都議会議員 渋谷信之様」「都議会議員 原紀子様」「市議会厚生委員長 村山順次郎様」「社会福祉法人東久留米市社会福祉協議会会長 松本誠一様」「東久留米市シニアクラブ連合会会長 貫井勝義様」「特定非営利活動法人東久留米市文化協会会長 比田井芳武様」「東久留米市商工会会長 齋藤正人様」「東久留米市福祉保健部長 中谷義昭様」をお迎えし、樋川理事の司会により開会となりました。



総会終了後、アトラクションとして、自由学園の皆さんによる楽器演奏や合唱で楽しい時間を過ごしました。

また、総会は、小田桐副会長の開会挨拶、名和会長の挨拶に続き、会員表彰が行われ、20名の方々に感謝状の贈呈が行われました。

その後、来賓を代表して、富田市長、沢田議長、渋谷都議そして原都議から祝辞をいただきました。

引き続き、議案審議に入り、議長には巖淵理事が選出され、議案書に基づき、監査報告、令和5年度事業報告が行われました。続いて決議事項として、令和5年度計算書類等の承認、理事1名の選任が行われました。また就業に関する要綱の一部改正の報告も行われ、すべての議事が終了しました。

最後に、齋藤理事による閉会の挨拶で総会は滞りなく終了しました。

会員表彰

定時社員総会では、当センターの発展に寄与し、業績が顕著な会員20名の方々の表彰が行われました。おめでとうございます。

受賞者を代表し、前副会長の永渕充子様よりお礼の言葉がありました。

野口忠雄	中村光子	井出和盛	橋田豊子	小松容子	畠田由子	黒澤龍子	大塚坦	関根紀代	熊倉政一	大江達志	黒須勇	大東憲	鈴木康子	西山俊夫	成田忠男	和田かつ子	井上妙子	永渕充子	清水晴美
(前沢)	(滝山)	(ひばりが丘団地)	(中央町)	(八幡町)	(南沢)	(滝山)	(前沢)	(滝山)	(八幡町)	(下里)	(上の原)	(南沢)	(下里)	(滝山)	(滝山)	(南町)	(大門町)	(幸町)	(八幡町)

表彰者氏名

(敬称略)



謝辞 永渕 充子様



就任のご挨拶

常務理事
事務局長 山下 一美

4月1日付で事務局長に就任いたしました。3月までは東久留米市役所の職員をしておりました。公益社団法人東久留米市シルバー人材センターの充実、発展のために微力ながら貢献できるよう努めてまいります。

私が着任してから早3カ月半が経ち、先月27日には本年度の定時社員総会が無事終了したところでございます。センターは、会長及び副会長を含め14名の理事の合議により様々な重要事項が決定され、それに基づいた運営がなされています。

この14名の理事は会員皆さまを代表し、真剣にセンターの運営について考え、話し合っています。今、センターには大きく二つの試練が同時に降りかかっており、これらは時代の要請と言っても過言ではなく、何としても乗り越えていく必要があります。

一つには令和5年10月から始まったインボイス制度への対応、一つにはフリーランス法の施行です。前者は消費税に関してセンターの財政に影響を与え、後者は会員の皆さまの就業に当たって契約方法等に変化をもたらします。関連してデジタル化への対応が求められていることもございます。

近々皆さまにお知らせすることとなりますので、その節はよろしく願いいたします。

春の散策会

組織活性化委員会

4月11日(木)37名(非会員10名含む)が参加して行われました。花小金井駅から遊歩道をゆつくり徒歩で30分位。10時には、小金井公園内の『江戸東京たてもの園』に到着しました。

当日は、天候の変わり易い季節には珍しく爽やかな晴天に恵まれ、また、開花時期が遅れたお蔭で、桜が満開でベストの状態でした。桜とたてもの園の正門をバックに全員集合記念撮影。入園後、歴史



ある建物をゆつくりと散策しました。園内なので迷子になることがないので安心です。

入園手続き、場所取りなど山口事務局長代理のフットワークの良さに感心しながら、さらに組織活性化委員の皆さんの各所の注意事項の説明も簡潔で分かりやすく、宴会も自主的に楽しんでいました。ああ！日本人で良かった。

その日の夜には、お誘いした方々から「参加して良かった」、「誘ってくれてありがとう」と喜びのメールをいただきました。一つ一つの積み重ねが、組織の活性化につながっていくのかな...と思いが、早速秋の散策会の宣伝(笑)をしました。

次回も皆さんに喜んで参加して頂けるよう、委員会では恵を出し合いますね。



安全箱

安全管理委員会

当センターの事故状況ですが、ここ数年は前年を下回っており良い傾向ではあります。

しかし、まだまだ事故は発生しています。傷害事故においては、自転車による転倒事故が目立っています。先日も自転車で転倒し、当初は軽傷と思っていたが、後日頭痛がひどくなり、診察を受けたところ硬膜下血腫と診断された例がありました。

安全管理委員会では、事故防止の目的で体力測定会、自転車安全運転講習会、安全パトロールなど様々な取り組みを行っています。自転車用ヘルメットの着用推進運動もその一つです。事故は不注意・油断・気のゆるみ

等々が理由なのだと思いますが、そのようなことは本人の注意で防げるものがほとんどです。当委員会では事故が発生した場合、本人への聞き取り調査や原因調査などを行い、再発防止策などを検討し、実行しています。

会員の皆様には講習会等に積極的に参加していただき、安全な就業、安全な生活を目指していただきます。

また、安全就業のためにも職場のリーダーや安全管理責任者の方々にはご苦労をかけるようになると思います。ご協力をお願いします。





出張入会説明会

東部地域センターで開催

4月8日(月)、かねてより、広報部会で企画していたセンター以外での入会説明会を、東部地域センターで実施いたしました。事前に東部地域にチラシを配布し、予約を受け付けました。時間と部屋の広さを鑑みて定員18名とさせていただきましたがお陰様で各時間共、定員いっぱいとなりました。面接をしていた方には、入会をしていただきました。初めての試みでしたが、成果に手ごたえを感じました。

【コラム】牡丹先祖返りか？

広報部会 有田治子



M家に見事な白牡丹(中央は薄紅)が、その近くに芍薬が毎年一カ月遅れで咲くそうです。植える担当の家政婦さんは、その芍薬は「牡丹が先祖返りしたのだ」と言いました。牡丹は木で芍薬は草花なのだから、いくらなんでも無理があるとYさんはい言いました。私が「私以外植える人はいないし、牡丹は先生が貰った鉢から私が植え替えたのだ。芍薬なんか植えた覚えはない。だから先祖返りだ」とその家政婦さんは言い張りしました。ある時、テレビを見てみると牡丹寺の映像が写り、牡丹の下に芍薬の根の方を接木しているではありませんか。それが一番相性が良いとのこと。その後調べてみると、「牡丹がついたら、時に芍薬も出てくる場合があるから牡丹の栄養が芍薬に摂られない様に芍薬は切ってしまう」とのこと。何と残酷な！Yさんは知らずにせっせと両方に肥料をやっていたので、どちらも見事な花が毎年咲いているということでした。

【牡丹植うばたん開けと念じつつ】

会報が新しくなりました

今回発行の116号から新しいスタイルになりました。従来の会報は、8頁または12頁の綴じた「本」の形式でしたが、本号より、A4見開き4頁形式となりました。また、発行回数は4カ月に1度とし、年間3回の発行となります。発行回数も多くすることにより、従来に比べてより記事をタイムリに掲載することが可能となります。会報が、より内容のあるものになるよう、広報部会も全力で取り組みます。そして皆さまの協力も不可欠です。よくしごく協力のほどお願いいたします。

「広報部会」



入会説明会

●開催：原則として毎月第3水曜日、午後1時～4時の間(概ね1時間程度)

●ホームページから予め会員登録(仮)をした方は、手続きが短縮されます。

説明会は予約制になっております。開催2日前までにご連絡ください。
(定員になり次第締め切り)

令和6年度 入会説明会日程表

令和6年	4月17日(水)	令和6年	8月21日(水)	令和6年	12月18日(水)
令和6年	5月15日(水)	令和6年	9月18日(水)	令和7年	1月15日(水)
令和6年	6月19日(水)	令和6年	10月16日(水)	令和7年	2月19日(水)
令和6年	7月17日(水)	令和6年	11月20日(水)	令和7年	3月19日(水)

シルバーひがしくるめ116号

令和6年7月18日発行

公益社団法人

東久留米市シルバー人材センター 広報部会

〒203-0043 東久留米市下里四丁目1番44号

☎ 042-475-0738 FAX 042-473-7730

http://www.sjc.ne.jp/silver



「喉が渇く前に、定期的な水分補給を心掛けましょう。」

体調の異変を感じたら、無理をせずにすぐに涼しい場所で休みましょう」